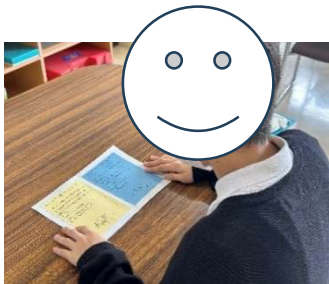


校種 (学級・教室の種別)	中学校 (知的障がい特別支援学級)	本事例の 教科等名	自立活動
在籍児童 生徒の実態	- 相手の気持ちを読み取ることが難しい。 - 自分の気持ちを伝えたり、物事を説明したりすることが難しい。	目標・指導内容	【目標】 ○自分の言動を振り返り、自分の気持ちを言葉で表現しよう。 【指導内容】 ○自分の日頃の言動を振り返り、自分の気持ちを伝えることができる。
指導の経過・ 工夫点・子ども の変容	【これまでの取り組み】 ・自立活動の中で、日頃の様子や困りを把握し、一緒に話し合い、ソーシャルスキルトレーニングを行っている。状況に応じた行動や言葉遣いをするのができずに、クラスメイトとトラブルを起こしてしまうことがあり、感情的になってしまうと自分を客観視できない所や、発言したことをすぐに忘れてしまう所があるので、“心のノート”を作成し、周りから喜ばれることと嫌がられることを自分で考えて記入し、時々見て自分の行動を振り返るようにしている。個人で考えることが難しく、なかなか言葉や具体例が出てこなかったため、一緒にこれまで起こったことを振り返りながら自分事として考え、作成した。 【指導の過程と子どもの変容】 ・“心のノート”を作成してからは、自立活動の時間に定期的に振り返りを行い、自分を顧みる時間を作っている。また、“こころかるた”を通して自分の考えを他者に述べることや他者の意見を聞き、受け入れることができるように取り組んでいる。“心のノート”を確認してから“こころかるた”に取り組むことで、相手の気持ちを考えて発言したり、表情を読み取ったりするトレーニングにつながっている。 使用教材：こころかるた（全年令向け） （クリエイションアカデミー https://www.meltcom.co.jp/pages/104/#block224）  心のノート  心のノートを見て振り返りを行っている様子 ※個人情報と著作権の関係から、写真の一部を加工しています。		
成果と課題・ 今後の方向	【成果】 ・自分を振り返る時間を定期的に確保して、一緒に確認することで、自分を客観視し、感情をコントロールできるようになってきている。 【課題】 ・言葉の表現が拙く、まだサポートが必要なので、言語に特化したソーシャルスキルトレーニングも取り入れていきたい。		